

愛知の医療体制を守るための緊急メッセージ ～ 医療関係者の皆様への感謝とお願い ～

愛知県では、感染力が非常に強い新型コロナウイルスオミクロン株のB A. 5系統への置き換わりにより、新規陽性者数が最多の更新を重ねるとともに、入院患者数が過去最高となるなど、大変厳しい状況が続いています。

また、外来医療におきましても、発熱患者が診療・検査医療機関を中心に集中し、その負担が増しております。

そうした中、医療関係者の皆様には、外来診療、休日・夜間等の救急受入れ、入院対応など、県民の皆様の生命と健康を守るため、昼夜を問わず献身的に医療体制を支えていただき、心より感謝申し上げます。

現在、県医師会、県病院協会始め医療関係者のご尽力により、新型コロナに対応する医療体制を何とか確保しておりますが、感染者がこれまでにない規模で拡大しており、病院内での一般患者や医療スタッフへの感染拡大も相俟って、新型コロナの診療・検査医療機関や重点医療機関等のみでは必要な医療を提供できない状況となっております。

国内で新型コロナウイルス感染症が発生してから約2年8か月の間に、ワクチンや治療薬の開発が進む中、ウイルスの性質は弱毒でより感染力の強いものに変化し、コロナがより身近な感染症となりました。今後は、ある程度一般の医療体制の中で診療を行っていかねばならない感染症になると考えられます。

そこで、全ての医療機関の皆様におかれましては、是非とも新型コロナウイルス診療等へのご協力をいただき、一致団結してオール愛知で医療体制を守り抜き、県民の皆様の生命と健康を守ることができるよう改めてお願い申し上げます。

重点医療機関等の皆様へ

確保病床かどうかにかかわらず、入院を必要とする患者が一人でも多く入院して必要な医療が受けられますよう、一層の受け入れ体制の確保をお願いします。

重点医療機関等以外で病床をお持ちの医療機関の皆様へ

かかりつけの患者や入院の患者がコロナ陽性と判明した場合にあっても、可能な限り、治療の継続をお願いします。

あわせて、これまでの病診連携の体制と同様に、コロナ陽性の患者についても、病状が落ち着いた場合のコロナ確保病床からの入院受け入れのご検討をお願いします。

外来診療を実施している医療機関の皆様へ

発熱患者の集中を回避するために、診療・検査医療機関以外の医療機関の皆様も、可能な限り、患者の診察を行っていただくようお願いいたします。

なお、かかりつけの患者等からのご相談に対しては、動線の問題、診療科の問題などそれぞれのご事情もあるかと存じますので、電話・オンライン診療等もご活用ください。その上で、必要に応じて適切な医療機関をご紹介いただくなどの初期対応をお願いします。

2022年8月29日

愛知県知事 大村 秀章